◎サポーターほっとニュース

「サポーターほっとニュース」では、障がい者サポーターとして登録された方の活動や、サポーター制度への期待を込めたコメントやお話などの情報を紹介していきます。
第９回目は、12 月６日に開催された、山本シュウさん講演会についてレポートします。

【第９回】　We are シンセキ！人生はOh！ドラマチック！
～ 障がい者サポーター研修会レポート ～

障がい者サポーターの皆さんがもっと障がいについて理解を深めていただく場として、平成２６年度第２回障がい者サポーター研修会を、障害者週間に合わせて１２月６日に開催し、たくさんの方にご参加いただきました。

今回の研修会では、「We are シンセキ！人生はOh！ドラマチック！」と題して、**山本シュウ** さん に講演いただきました。
山本シュウさんは、別名レモンさん。大阪府出身で、現在、ＮＨＫ Ｅテレ「バリバラ～障害者バラエティー～」司会や、ラジオパーソナリティなど、各方面で活躍されています。

講演会では、レモンのかぶり物をしてテンション高く登場したシュウさん。関西弁でのマシンガントークに、会場では絶えず笑い声がこぼれていました。
自らを「おじさんの顔したお節介なおばちゃん」と表現するシュウさんは、今の世の中は障がい者に優しくない、そして健常者にとっても実は優しくないと語ります。

障がいのことを知っているつもりでも、全然わかっていない。でも健常者も大変な目に遭っている。互いの目線を知ると通い合うこともある。
お節介は他人を助け、自分を助ける。自分の幸せを考えた時に、障がい者の幸せにつながって、障がい者の幸せを考えた時に、周囲の幸せに繋がる。その時に、障がい者であるかどうかは関係ない。
幸せとは形ではなく、心が喜ぶこと。ささいなことでも、1秒でも心が喜ぶことをしてください。諦めず、昨日の自分と比べてどんどんやりましょう。

▲山本シュウ さん（レモンさん）

笑いあり、感動ありの熱いメッセージは、参加者の皆さんの胸に深く刻まれたようでした。

◆ 次回研修会は、来年２月に開催予定です！

Topics

熊本市障がい者プラン中間見直し（素案）及び熊本市障がい福祉計画（第４期）（素案）策定に関するパブリックコメントを実施します

現在、熊本市では、本市の障がい福祉施策の基本的方向性を定める「熊本市障がい者プラン」の中間見直しと、障害福祉サービスの必要量等の見込みやその確保策等を定める「熊本市障がい福祉計画」の第４期計画の策定を進めています。

これらの計画について、広く市民の皆様のご意見をお聴きし、計画策定に反映させるため、このたびパブリックコメントを実施します。

計画の素案は、熊本市ホームページのほか、市役所障がい保健福祉課、市政情報プラザ、区役所（中央を除く）、総合出張所、出張所、河内総合出張所芳野分室、中央まちづくり交流室、五福まちづくり交流室、河内まちづくり交流室、くまもと森都心プラザ市民サービスコーナー、総合保健福祉センター（ウェルパルくまもと）及び地域コミュニティセンターでご覧になることが可能です。

【意見募集期間】

平成２６年１２月２６日（金）～平成２７年１月２６日（月）

【意見の提出先・提出方法】

意見提出の様式はありませんが、氏名、住所、電話番号を明記のうえ、次のいずれかの方法で送付してください。なお、匿名や電話でのご意見は受け付けかねますので、あらかじめご了承ください。

〇電子メールでの送付

アドレス　shougaihokenfukushi@city.kumamoto.lg.jp

〇郵送での送付

〒860-8601（市役所専用）熊本市障がい保健福祉課あて

（各区役所等に意見提出用封筒を設置していますのでご利用ください。）

〇ＦＡＸでの送付

ＦＡＸ番号　096-325-2358

【その他】

氏名、住所、電話番号などの連絡先については公開いたしませんが、ご意見については公開する予定です。なお、いただいたご意見については、意見のまとまりごとに本市の考え方を公開いたします。個別には回答いたしませんので、あらかじめご了承ください。